

この季節が一番似合う沢〜遠方編

会越国境 霧来沢もうがけ沢

しばらく沢に行けていない松本さんと吉澤君を誘い、本名御神楽岳の南面に行ってきた。先人の記録によるとこの季節がベストだろうと狙っていたのだ。

5/31 (金) 出発の夜

前日の木曜は一ノ倉沢烏帽子沢奥壁南稜を登り、体調はすこぶる良い。金曜の夜、実家の近くから高速に入り一路会越へ車を走らせる。会津田島の先、野尻川沿いを北上していても闇夜の中では何も見えず、ただボヘミアンラブソディーが流れ、眠らないように松本さんのお喋りに付き合ってくれていた。よくあることで何を話したかは覚えていない。

6/1 (土) 快晴

2時間の仮眠で本名御神楽岳登山口へ向かう。三条林道は未舗装だが整備されていた。今が盛りと藤の大棚が山を薄紫に彩る。大鍋又沢出合の駐車スペースは山開きに備え駐車禁止のロープが張られていたが、奥の登山口の駐車スペースは使えてホッとした。今日は気温が高いため沢登りにしようと思案したら、二人は最初からそう思っていたらしい。私が計画段階からスラブを連呼していたので言えずにいたようだ。霧来沢沿いの登山道では松本さんがワラビに目を光らせていた。

もうがけ沢出合の河原は明るくベースを張るのにちょうどいい。持ち込んだビールや肉を沢で冷やしたら出発だ。入渓するとすぐにサワグルミ、トチ、ブナの巨木に出迎えられる。あまりにも気持ち良いので吉澤君が早速テンカラを振る。吉澤君はいつから太公望になったのだろうか。上手い。沢を曲がると支流から雪渓が大きく沢に張り出してきている。ようやく山菜もでてきた。右壁から落ちる10mの滝を過ぎるとV字になる。スラブ状の15m滝は左岸から巻いて灌木を伝って沢に戻る。次は深そうな淵の奥に2m程度のCS滝がかかっている。水流がそれほど強くないので水線通しでいけそうだ。吉澤君がフローティンググローブを引いて突破する。私はセカンドで行ったが、足がつかなくなる手前で淵が狭まるので両手両足で突っ張ってCSの左側から水流を浴びながら越える。



CS 滝を突破する

【日程】

2019年6月1日(土)

【メンバー】

福永 (L)、松本、吉澤

【グレード】

2級

【地形図】

貉ヶ森山、御神楽岳

【記】福永



愛おしいワナちゃん

沢が開けると太陽に透けた黄緑の木々や明るい空が目飛び込んできた。そして沢が大きく左に曲がると右側には100mはあろう側壁が青い空まで伸びていた。右側の緑も緩やかに沢に下りてきたと思った矢先に10mの強そうな滝に行く手を阻まれる。少し戻って右岸を大きく巻くか迷ったが、左岸から行けそうだったので取り付く。余裕をもたせて大きめにトラバースをかけ、5mの滝も一緒に巻いた後、樹木を伝って降りることができた。気持ちの良い平らなナメ床をいくと沢幅いっぱい4m程度の滝が広がっていた。乾いている右側から快適に登る。途中、沢に大きなブナが倒れていたが、その根っこからウドが生えていて珍風景に笑ってしまった。正面に立派な滝が見える。3段15mの滝。右側が垂直に立っているが右岸は泥付きの斜面。そしていかにもという感じに



雪溪の先は水量豊富な25m滝

ウドが。労せず巻き上がる。

沢床に戻ると左側に大きな雪溪がでてきた。分厚い雪溪がかかる沢は枝沢で目の前に水量豊富な25m滝が現れた。セオリー通りに右から巻いて沢に戻るとすぐ左手に支流があった。ここが幻の大滝の入り口だ。太陽が真上にあつてナメがキラキラしている。覆いかぶさる木々の間を抜けると、圧巻の景色が広がっていた。

こんな景色はそうそう見るできないだろう。水が白い衣のように薄く流れるスラブ状の滝を途中まで登り何回もシャッターをきった。沢山写真を撮ったので随分長く遊んでいたかと思ったが実際は10分程度だったようだ。荷物を背負い直し二人が左端を登っていったが、私は水線を真ん中からあがって、オーバーハングの手前で左に逃げた。その上も乾いたスラブが続いて二人ともすたすたと行ってしまった。私も最初は調子が良かったが、最後、傾斜が強くなったところで一瞬迷い足が竦んだので、先行していた吉澤君からお助けを垂らして貰った。スラブを抜けて沢に戻ると長いナメがずーと続いていた。途中から雪溪で埋まってきたので右岸の尾根に取り付き、傾斜の緩い



幻の大滝で遊ぶ

1050mラインを林道へ向かった。激藪の尾根だがこの時期は雪溪を拾えるのでそんなに苦労しない。峰越林道を30分下ると左側に“幻の大滝へ”という傾いた看板があった。思いのほかしつかりとした踏み跡に導かれ当初予定の沢を降りずに中間尾根を降りていたら上流側の沢に吸い込まれてしまった。すっかり夕方になってしまったがベースに戻ると吉澤君は竿を挿んで霧沢本流へ出かけていった。充実した山行と宴の余韻を残し、翌朝は山開きの登山者の鈴の音で目を覚ました。

【行程】 6/1 本名御神楽岳登山口(7:20)～もうがけ沢出合BP(8:15/8:50)～幻の滝(12:45)
～峰越林道(16:00)～BP(17:40)



霧来沢もりがけ沢
 2019. 6. 1
 福永. 松本. 吉澤 (図: 福永)

